

「長野市農業振興アクションプラン」 の実施状況について

長野市農林部・農業委員会事務局

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

長野市農業振興アクションプラン

長野市農業振興条例第10条に基づく、農業及び農村の振興に関する計画

【計画期間】 令和4年度～令和8年度の5年間

【将来像】 三実一体で実現する力強い長野市農業

【体系】

重点施策	大項目	中項目	小項目
施策 1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	① 農業の多様な担い手の確保と育成	ア 中心的な担い手となる農業者の育成 イ 新たな担い手の確保 ウ 農業者を支える団体の活動支援	40の具体的な取組
	② 農地の有効利用と農業生産基盤の整備	ア 優良農地の確保と農地の有効利用 イ 農業生産基盤の整備と維持管理	
施策 2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	③ 地域の特性を活かした生産振興	ア 主要農畜産物の生産振興 イ 中山間地域の生産振興 ウ 安全・安心な農産物づくり エ 災害対策・野生鳥獣対策	
	④ 農産物の販売力強化と他産業との連携	ア 販路の拡大 イ 付加価値の向上	
	⑤ 農業・農村に対する理解の促進	ア 地産地消・食文化の伝承 イ 都市と農村の交流	

➤ 将来像の実現に向け、2つの重点施策のもとに、40の小項目を実施

➤ 4つの指標を設定し、進捗度合いを管理

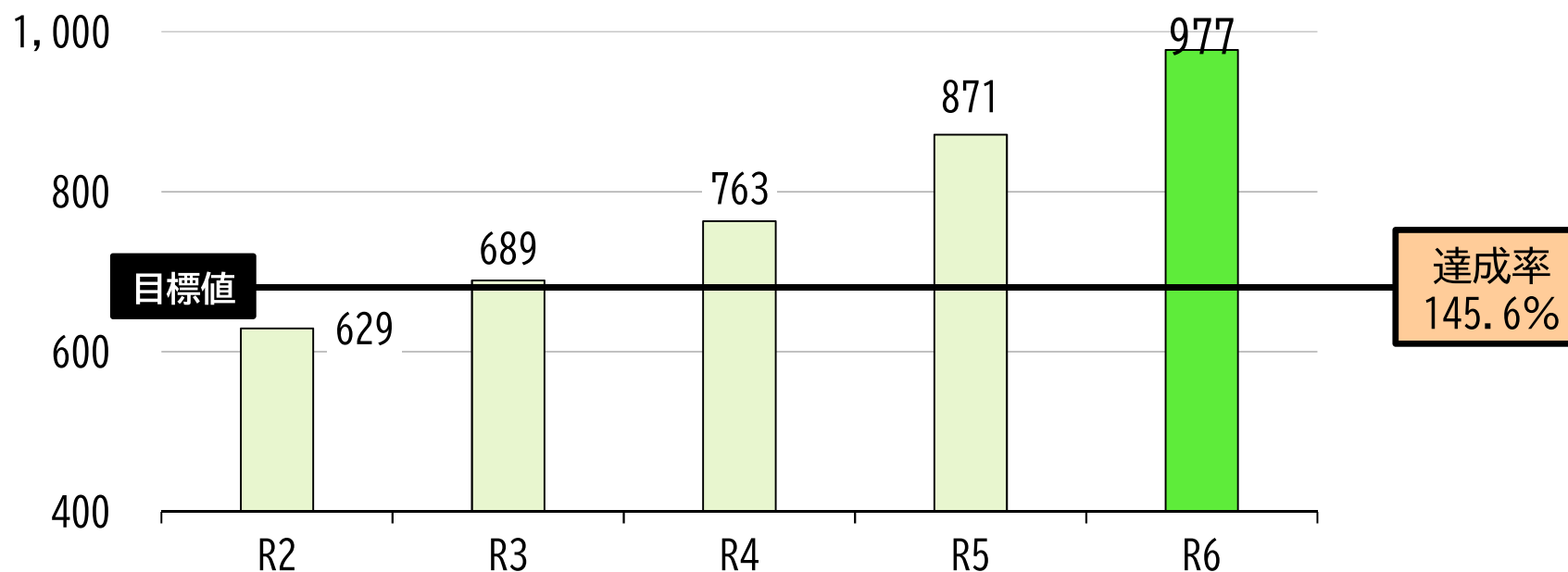
【報告及び公表】長野市農業振興条例第11条に基づき、毎年市議会に報告し公表

	指標名	内容	現状値 (令和2年度)	令和6年度	目標値 (令和8年度)
1	地域の中心経営体 (経営体)	各年度末時点で人・農地 プランに掲載されている 経営体の数	629	977	671
2	農地の利用権設定 面積 (ha)	農業委員会事務局農地情 報公開システム登録面積	752.7	980.0	992.7
3	果樹の新品種・新 技術導入による栽 培面積 (ha)	りんご新わい化、ぶどう 新品種の栽培面積推計値	120.5	168.9	180.5
4	計画期間の市農業 生産額の累積 (億円)	市全体の農業生産額の令 和4年産から8年産まで (5年間)の累積	192.6	608.2	1,020

1 地域の中心経営体(経営体) ※積み上げグラフ

各年度末時点で人・農地プランに掲載されている経営体の数

	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R8)
実績値	629	689	763	871	977	671

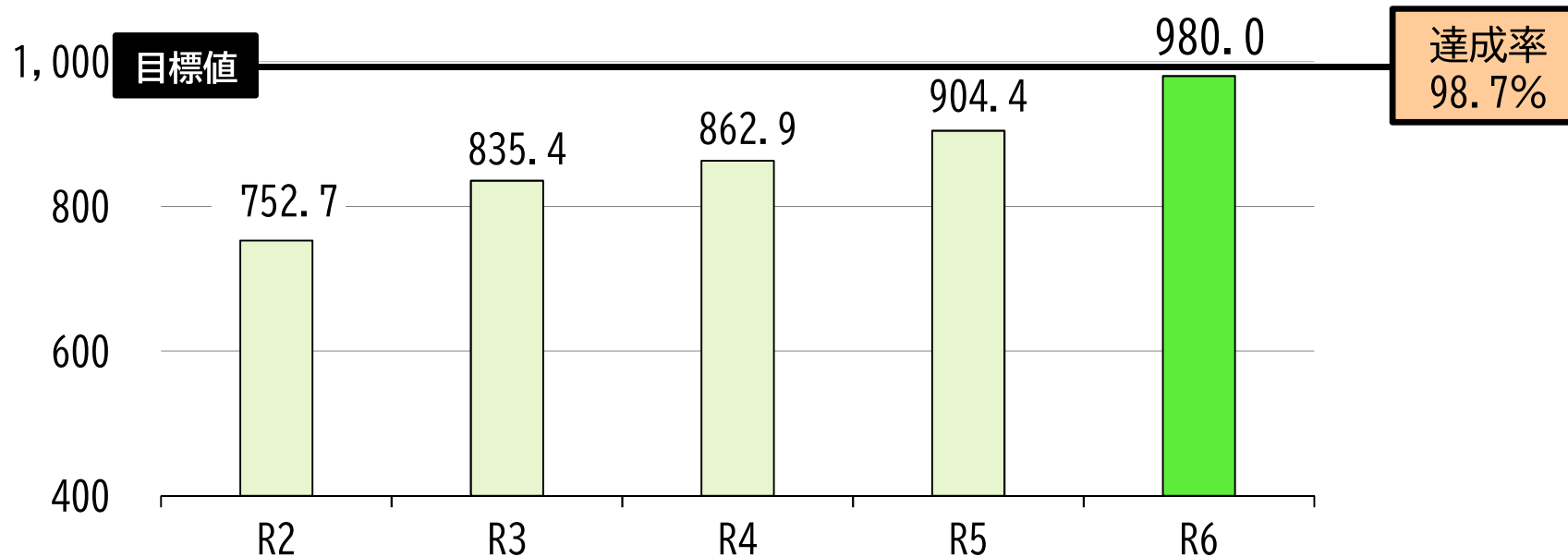


地域の中心経営体は、令和2年度より348経営体増で目標達成
【要因】農地中間管理事業の利用者増

2 農地の利用権設定面積(ha)

農業委員会事務局農地情報公開システム登録面積

	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R8)
実績値	752.7	835.4	862.9	904.4	980.0	992.7

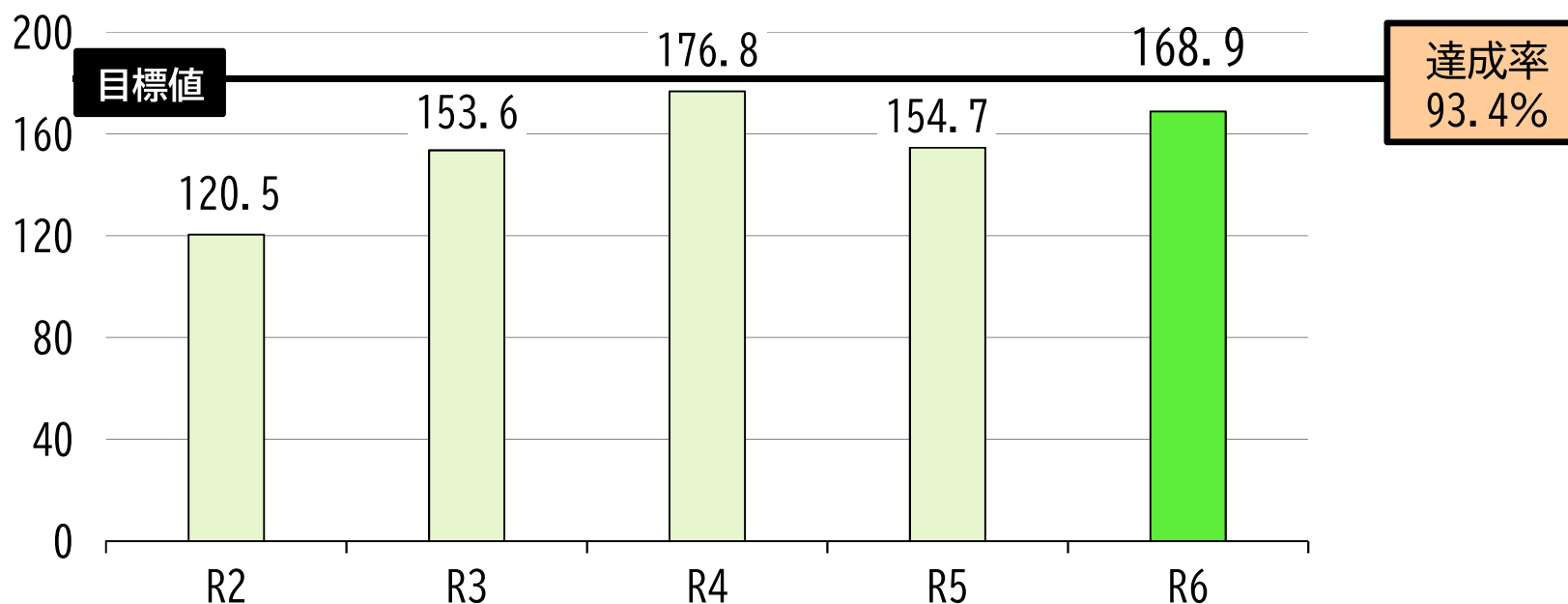


農地の利用権設定面積は、令和2年度より227.3ha増と概ね順調に推移
【要因】 農業者の高齢化や後継者不足に伴い、担い手への権利移動が進んだもの

3 果樹の新品種・新技術導入による栽培面積(ha)

りんご新わい化、ぶどう新品種の栽培面積推計値

	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R8)
実績値	120.5	153.6	176.8	154.7	168.9	180.5



果樹の新品種・新技術導入による栽培面積は、令和2年度より48.4ha増加している。

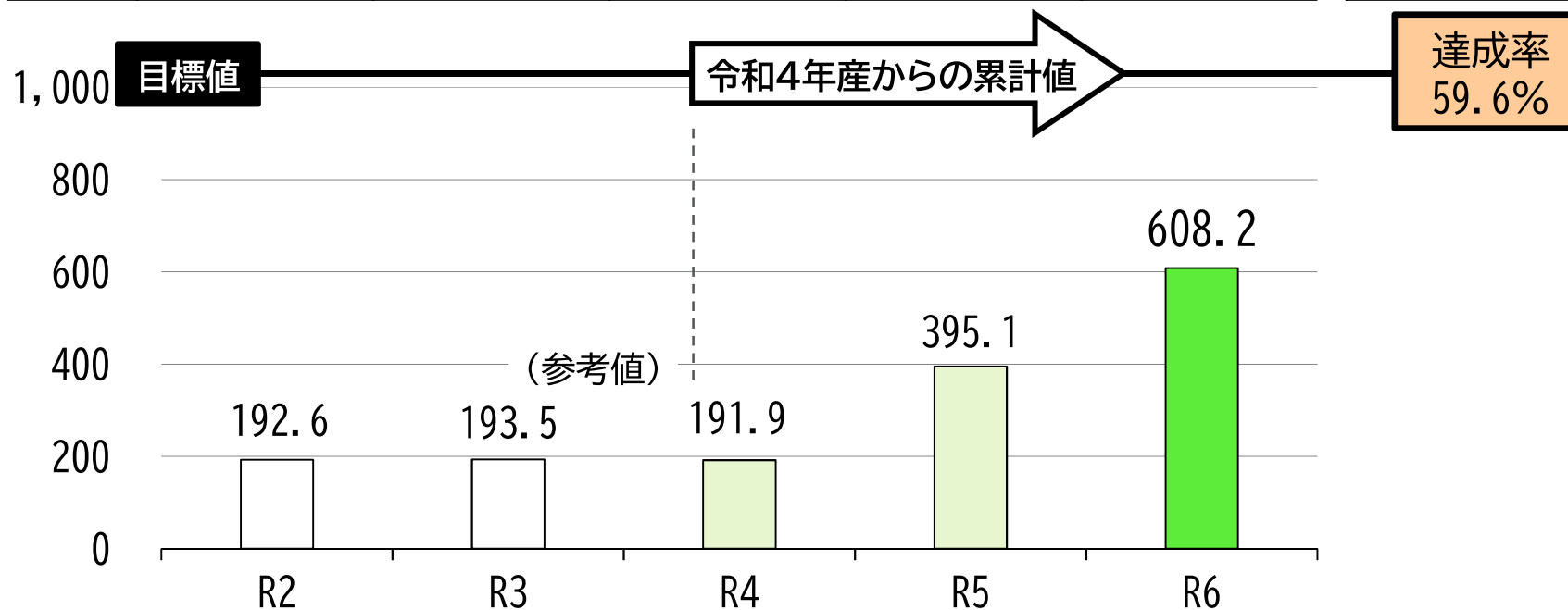
また、令和5年度より14.2ha増加

【要因】ぶどう新品種の増加（その一方で、りんごは減少）

4 計画期間の市農業生産額の累積(億円)

市全体の農業生産額の令和4年産から8年産まで(5年間)の累積

	現状値(R2)	R3	R4	R5	R6	目標値(R8)
実績値	192.6	193.5	191.9	395.1	608.2	1,020



計画期間の市農業生産額の累積は、令和6年度に416.6億円増と順調に推移
【要因】農産物価格の上昇 など

- 農業経営基盤強化促進法に基づき、地域における将来の農業のあり方を明確化する「地域計画」の策定に向け、農業者の皆様との話し合いを実施
- 令和7年3月31日、予定どおり地域計画を策定



若穂地区で策定した地域計画の説明会を実施(R7.5.23)

- 農家の子（又は孫）が親の元気な時期から親とともに経営を担い、徐々に経営継承してもらうことを目的に、助成金（年120万円を最大3年間）を交付
- 令和6年度から、対象年齢を45歳未満から50歳未満に拡大し支援（R6 新規交付対象者 5名）



令和元年東日本台風災害で被災した長沼地区
で親元就農しリンゴ栽培に励む農業者



若穂地区で親元就農し稲作に励む
農業者

- 令和5年度 総務省のローカル10,000プロジェクトを活用して、長野市ワイン・シードル特区認定後、市内初となる専業ワイナリーを篠ノ井有旅地区に設置する事業者を支援（補助金交付額 50,000千円）
- 令和6年度 市のワイナリー施設整備事業補助金により、専業ワイナリーを信州新町地区に設置する事業者を支援（補助金交付額 3,712千円）



(株)ぶどうやぶワイナリー
[信州新町地区]



有旅ワイナリー(株)
[篠ノ井有旅地区]

- 令和6年度から若手職員が中心となり、農業政策に関する情報や先輩農業者の活動等を幅広く発信
- 本市農業の魅力を伝え、全国で新規就農を考えている方を本市へ引き込む
- フォロワー 367人（R7.7.1現在）



@NAGANOSHI_AGURI



- 地域農業の担い手となる新規就農者を確保するため、就農を希望する方に対し、地域農業者の指導による農業体験を実施
- 令和3年度に事業開始し6件の利用実績があったが、令和4年度はコロナで休止、令和5年度は実績なし
- 令和6年度はSNSによるPR効果もあり、4件の実績



中条地区での水田作業体験



若穂地区でのぶどう栽培体験

- 農業生産性の向上と経営安定化を図るため、農道やかんがい施設などの農業生産基盤の整備を実施
- 農道整備 54箇所 L=1,746m
- 水路整備 148箇所 L=2,572m
- 防災重点用ため池の地震耐性評価 9箇所

農道舗装[篠ノ井山布施]

<施工前>

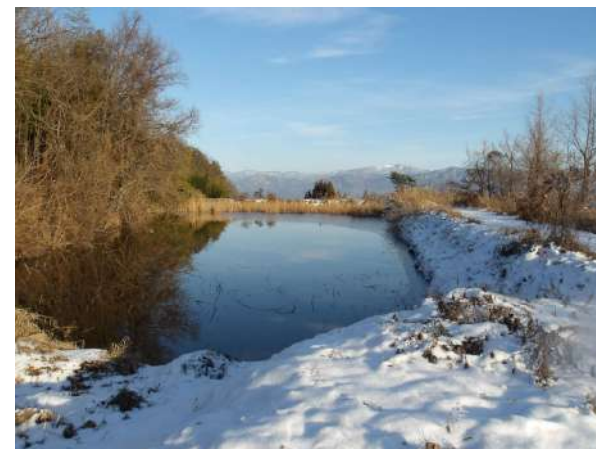


<施工後>



<地震耐性評価>

上の新池[信更町赤田]



<地質調査実施中>



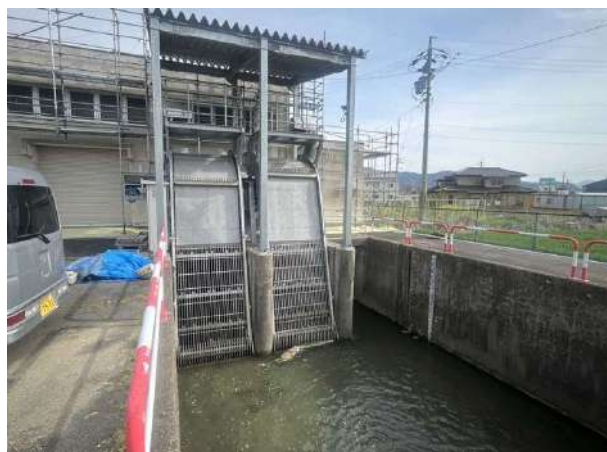
- 農地や住宅地を大雨等河川の増水による水害から守るために排水機場を管理しているが、建設から年月が経過し老朽化が進んでいる排水機場が多いため、緊急性の高いものから改修・更新を実施
- 県営事業による農村地域防災減災事業 6地区・11排水機場を実施

西寺尾第二排水機場

<施工前>



<施工後>



音無川排水機場

<施工前>



<施工後>



- 果樹や農産品そのもののほか、これらを使った「選ばれる特産品」が多数あることも大都市圏の消費者に知っていただき、売上・販路拡大を図るとともに、地域を積極的にPRすることで当該エリアの物産ブランド発信と観光誘客を図るため、「長野大物産展」を初開催

【開催期間】 令和6年11月13日（水）～19日（火）10:00～20:00（最終日のみ18:00終了）

【開催場所】 名鉄百貨店本店（愛知県名古屋市） 【売上合計】 約5,700万円



- 昨今の気候変動により生産者が抱える果樹生産や農地に関する課題を消費者へ発信するとともに、消費者がどのような果樹を求めているのかを生産者に届ける場を設け、双方の意見交換・交流の場を通じて、果樹生産の持続的な発展とマーケットイン型の生産を目指し、長野市果樹サミットを初開催

【開催日時】 令和6年10月26日（土） 10:30～14:00 【来場者数】 延べ190人

【開催場所】 若里市民文化ホール



講演
「果樹ほ場の農地集積・集約化への取り組みについて」



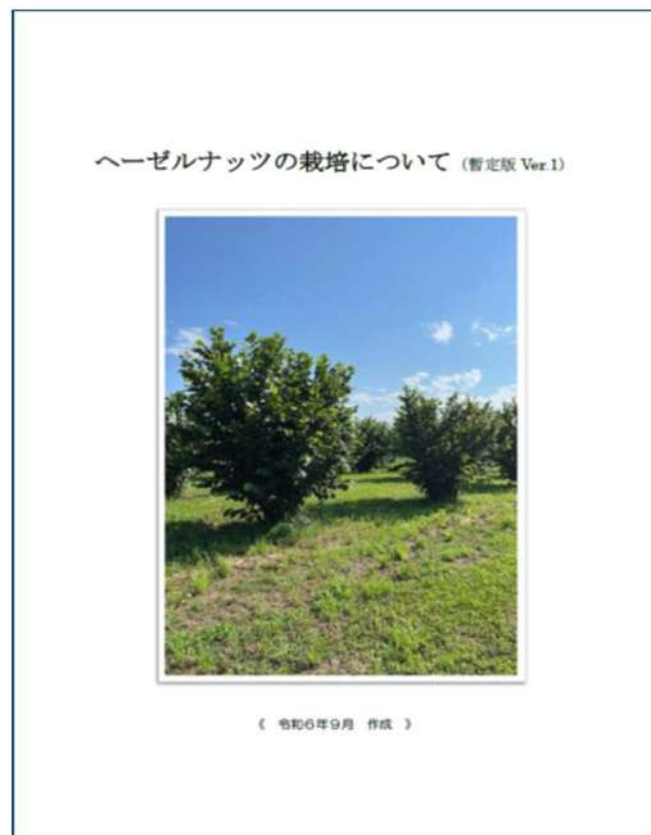
パネルディスカッション
「新たな果樹ヘーゼルナッツの可能性について」

- 長野市が、「おいしい」りんご・ぶどう・ももの果樹産地であることが伝わり、映像を見た人が「長野市の果樹を手にとってみたい」「食べてみたい」と思うような映像を制作
※約3分の通常版と、1分のダイジェスト版を制作
- 今後、You TubeをはじめとしたSNSを通じた配信のほか、農業だけでなく、移住や観光も含めた市が関係するイベント等での活用を予定



市公式YouTubeで公開中

- 長野農業農村支援センターと協力し栽培の手引きを作成
- 剪定研究会を開催 参加人数:61名(市内33名 市外28名)
- ヘーゼルナッツ営農苗木補助事業および試験ほ場事業の実施
本数:3,597本 決算額:10,709千円



栽培の手引き



剪定研究会

- ワイン用ぶどう産地形成事業を実施し、苗木や資材の購入費用を支援
- 決算額:1,236千円 申請件数:5件(苗木557本及び垣根資材)
- 長野市ワインぶどう研究会(事務局:農業政策課)と長野農業農村支援センターが共催で栽培講習会を開催(計4回)



ワイン用ぶどうの果実



栽培講習会の様子

- 令和5年度の凍霜害被害を受けて国の交付金を活用し令和6年2月より事業開始（令和6年度へ繰越）
- 予算額：15,000千円 補助率：1/2
- 申請件数：4件 設置基数：7件（全て令和6年度設置）
- 決算額：2,578千円



防霜ファンが設置された農場
[豊野地区]



防霜ファンが設置された農場
[長沼地区]

- 中山間地域を中心に野生鳥獣による農作物の被害が拡大しており、各地区の有害鳥獣対策協議会（委員会）が行う、各種の防除対策に対する支援
- 国庫事業を活用して、若穂保科区及び信州新町中牧区では、住民自らが電気柵等を設置（R 6年度 3.15km）

緩衝帯の整備



<整備前の状況>

見通しがきかず動物が
隠れやすい環境
[鬼無里地区]



<整備後の状況>

見通しがきき動物が
出没しにくい環境に
[鬼無里地区]

電気柵や防護柵の設置



鳥獣被害防止対策として
若穂地区で設置が進む電気柵

トタン併用6段張り電気柵

- 令和元年に稼働した長野市ジビエ加工センターでは、捕獲従事者の協力により前年度を上回る数の個体を受入れるとともに、販路拡大などセンターの運営改善を図るための取組を実施
- 市内小・中学校の学校給食でジビエ料理を提供するとともに、保護者向けに作成したジビエのパンフレットを配布
- 長野県立大学との連携事業によるシカ肉の油脂の機能性の研究やジビエ料理の開発を行うとともに、アドバイザーを活用した販売促進など、ジビエ等の普及促進に向けた取組を実施



長野市ジビエ加工センター



鹿肉のスライス



鹿メンチカツボール



ジビエ給食(シカ肉のボロネーゼ)

- 長野市農業公社では、地域ブランド「ながのいのち」で地元産農産物・加工品の販売と消費拡大を図るため、新たな場所での直売市を開催
- 開催場所：長野ターミナル会館
- 開設日：令和7年3月17日

新たな直売市

旬菜市 in 長野ターミナル会館



他の販売促進



R6.7.27・R6.9.21
旬菜市in OYAKI FARM



R6.4.10~5.31
長野電鉄長野駅



R6.5.14~12.10
毎週火曜日
長野銀座にぎわい市

長野市農業青年協議会と地産地消協力店による商談会

～生産者と事業者の絆ミーティング～ 【No.37 地産地消の推進】

農業政策課 24

- 長野市在住の青年農業者で構成された長野市農業青年協議会の会員を中心とした生産者8名と長野市地産地消協力店6事業者による商談会を実施
- 生産者は取引先の拡大を目指す農産物を持参し、試食を交えながら事業者にPRを行った
- 本事業はコロナ禍により、令和2年度以降実施されていなかったが、4年ぶりに再開
- 次年度以降も開催方法を検討しながら継続開催予定

商談会の様子(R6.10.28)



- 実施したアンケートでは「参加してよかった」「また参加したい」といった声が多く寄せられた。
- 事業者からは「特別栽培・有機栽培をされている農家」「信州の伝統野菜を栽培している農家」とも商談をしてみたいとのご意見を頂いた。